

臨床研究に関する公開情報

2022年 09月 06日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	ピロリン酸シンチグラフィ陽性の予測因子の探索
対 象	2018年1月1日から2022年7月31日まで当院の循環器内科に受診された患者様のうち、ピロリン酸シンチグラフィを施行した患者様を対象としています。
研究期間	承認日から2023年3月31日までを予定しています。
研究目的	近年トランスサイレチン型心アミロイドーシスという疾患を診断するにあたり、ピロリン酸シンチグラフィが有用であることが分かっています。本研究では、ピロリン酸シンチグラフィを施行した患者のうちで、トランスサイレチン型心アミロイドーシスの診断に至った患者様の背景の違いや、検査所見を調べることで、どのような患者様にピロリン酸シンチグラフィを施行するべきか明らかにすることを目的としています。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、自覚症状(NYHA分類)既往歴(高血圧、糖尿病、心房細動、絞扼性末梢神経障害、ペースメーカー植え込み、心不全入院歴、心筋生検の有無[診断確定の有無])血液学的検査(ヘモグロビン、ヘマトクリット、総ビリルビン、総蛋白、アルブミン、BUN、クレアチニン、高感度トロポニン、BNP)、心電図(調律、心拍数、PR幅、QRS幅、完全脚ブロックの有無)、Tc-99mピロリン酸シンチグラフィ(1時間後のH/CL)、心臓超音波検査(左室駆出率、左室拡張・収縮末期径、左房径、左室中隔・後壁厚)があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析

対象から除外します。

問い合わせ先 兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科 蔵垣内 敬
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001
研究責任者：循環器内科 蔵垣内 敬